

開設記念講演会

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム

ノーベル化学賞受賞者による 講演決定!!



日時

平成19年7月10日(火)
14:30~16:00

場所

琉球大学法文学部新棟215教室
※先着250名

演題: Energy, Environment and Society

(英語による講演、和文原稿が後日刊行される)

李遠哲 (Yuan Tseh LEE) 博士は1936年に台湾に生まれ、台湾大学、精華大学、カリフォルニア大学バークレー校で化学を学んだ。同博士は化学反応を実験的に解析する装置の開発に力を入れ、交差分子ビーム法と呼ばれる装置によって個々の分子の化学反応における振る舞いを定量的に解析することに成功した。この功績によって「化学反応の素過程の動力学的研究」で1986年のノーベル化学賞を受賞した。32年間の米国生活から1994年に台湾中央研究院の院長に就任し、台湾の科学研究を世界的レベルに高めた。

キューリー夫人の伝記を読んで化学者を目指したが、小学生のころは野球や卓球の選手であった。高校では台湾大学に無試験入学を許可される優秀な学業成績をあげたが、テニス部に属し同時に吹奏楽部でトロンボーンを担当したという。

ノーベル賞受賞者とアジアの若い世代の交流を進めている。2007年7月に沖縄科学技術大学院大学設立の運営委員に就任され、沖縄の科学技術の発展に貢献されることになった。

講演者 プロフィール



李遠哲
(前台湾中央研究院長)

略歴

- ・国立台湾大学化学部卒(1959)
- ・国立精華大学大学院修士課程(1961)
- ・カリフォルニア大学バークレー校博士課程(1965)
- ・シカゴ大学助教授・教授を経て、1974年からカリフォルニア大学バークレー校教授
- ・ノーベル化学賞受賞(1986)
- ・台湾中央研究院長(1994-2006)
- ・(独)沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員(2007)

主催 琉球大学 沖縄科学技術大学院大学設置促進県民会議
沖縄県 (独) 沖縄科学技術研究基盤整備機構

問合先: 琉球大学学術国際部地域連携推進室 TEL: 098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)